

ろう児にとって聞こえないことは自然です。
ろう児が明るく楽しくありのままに
成長していくことが一番大切です。



日本手話は
ろう児が100%
理解できる自然言語です。
確かな母語が豊かな心と
知識を育みます。



「聞こえない人」ではなく「目の人」という
プラスの価値観を社会に広げていきます。



違いを認めて互いを尊重する。
ろう児が聴児と同じように
力を発揮し活躍できる、
社会づくりをめざします。

日本手話という100%理解できる教育環境で育
てば、ろう児は聴児と同じように成長し社会で活
躍できる人になる!そして、彼らの力を正しく受け
とめることができる社会をつくる。それがBBED
ろう教育センターのミッションです。



Bilingual Bicultural Education Center
for Deaf Children

特定非営利活動法人
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

ご連絡先

〒143-0016 東京都大田区大森北1-30-1三喜屋ビル2階
ホームページ:<http://www.bbед.org/>
e-mail:info@bbед.org Tel/Fax.03-5767-5057

このパンフレットは、ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京の
ご支援により制作しました。

私たちは、
ろう児が日本手話と書記日本語の
バイリンガルに育つことを応援します。



Bilingual Bicultural Education Center
for Deaf Children

特定非営利活動法人
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

ろう児の明るい未来のために、このような活動をしています！



Bilingual Bicultural Education Center
for Deaf Children

01 ろうであるわが子を自然に受け止め、子育てに自信が持てるように

- ※ 教育相談
- ※ ろうに関わる幅広い情報提供
- ※ 交流会や学習会、講演会の開催
- ※ 日本手話教室の開催
- ※ 日本手話による絵本の読み聞かせ DVD の貸出 など



02 バイリンガル・バイカルチュラルろう教育のさらなる発展のために

- ※ バイリンガルろう教育に関するデータ収集、教材開発研究
- ※ バイリンガルろう教育実践団体への支援や協同研究
- ※ 海外のろう教育機関及び専門家との情報交換や連携 など



03 ろう者と日本手話への理解を広げるために

- ※ 会員向け会報の発行
- ※ HP の作成・更新
- ※ 講演会の開催や講師派遣 など



04 多くのみなさんに知っていただくために

- ※ 企業への理解と連携（社会貢献プログラムの提案など）
- ※ 他の NPO、教育・市民団体との交流と連携
- ※ 日本手話に関する情報の普及活動 など



特定非営利活動法人
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

NPO 法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センターは、日本で唯一、バイリンガル・バイカルチュラルろう教育を実践するフリースクール龍の子学園を運営してきました。その実績が認められ、2008年4月に東京都の教育特区として学校法人明晴学園を設立。日本ではじめて、日本手話で教育を行うろう学校が誕生しました。しかし、これは日本に「バイリンガルろう教育」という教育の選択肢ができたに過ぎず、ろう児をとりまく環境には、まだ多くの問題が残っています。例えば、医療機関で難聴と診断されたときのインフォームドコンセント。現在は、聴覚口話法、人工内耳以外の情報が保護者に提供されることはほとんどありません。また、ろう乳児を連れて通うことができる手話学習会もありません。更に「聴覚障害児には、口を大きく開けて大きな声で話せば通じる」といった誤った認識が広まっています。バイリンガルろう教育センターでは、こういった問題を1つでもクリアできるよう今後も活動を続けてまいります。皆様には、引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

Bilingual

バイリンガルろう教育とは？

日本の場合で言えば「日本手話と書記日本語（読み書き）」という二つの言語を使ってろう児を教育することです。日本手話は、かれらの母語となる言語であり、すべてのろう児が自然に容易に確実に身につけます。それを土台にして日本語の読み書きを学ぶことによって、子どもたちの理解力・言語力・学力が年齢相応に発達、情緒も安定し成長します。

現在の日本のろう教育は、「聴覚口話法」という聞こえない耳で聞き、自分では聞き取れない声で話せるようになるということを目指している教育法が主流ですが、世界の多くの国ではバイリンガルろう教育が実践されその成果が報告されています。

Bicultural

バイカルチュラルって？

ろう者と聴者（聞こえる人）は違う文化を持っています。それぞれの文化は歴史的に受け継がれ無意識に身につけているものです。どこが違うのでしょうか？例えば、使っている言葉、呼びかける方法、どんなことを失礼だと思うか、どんな芸術やスポーツを好むか、などが違います。この違いを知らないと、ろう者と聴者が理解し合うことは難しくなります。だからバイカルチュラル（ろう文化と聴文化）ろう教育も大切なのです。